



第 33 回

日本放射線技師学会が

9月22日(金)～24日(日)に

函館アリーナにて開催されます。

当院からは、

診療支援部放射線科 待鳥尚子技師が

日本放射線技師会 人材育成委員会

女性活躍推進班の近畿地区代表で

学術発表をされますのでご紹介します。



第33回



日本診療放射線技師 学術大会

The 33rd Japan Conference of
Radiological Technologists (JCRT)

第24回東アジア学術交流大会 The 24th East Asia Conference of
Radiological Technologists (EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

未来への開港 — 技の継承と飛躍 —

Open a Port to the Future: The Succession and Progress of Techniques



会期
Date

2017年9月22日(金)~24日(日) September 22nd (Fri)-24th (Sun), 2017

会場
Venue

函館市民会館・函館アリーナ Hakodate civic hall / Hakodate arena

会長
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

主催
Host

公益社団法人 日本診療放射線技師会
The Japan Association of Radiological Technologists

大会長
Chairman

板東 道夫 (一般社団法人 北海道放射線技師会 会長)
Michio Bando (The Hokkaido Association of Radiological Technologists)

共催
Cosponsor

一般社団法人 北海道放射線技師会
The Hokkaido Association of Radiological Technologists

運営事務局
Secretariat

株式会社コンベンションワークス 〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17 TEL:011-827-7799 FAX:011-827-7769 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp
Convention Works Corporation 1-17, 3-chome, Kikusui 9-jo, Shiroishi-ku, Sapporo, 003-0809 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp

<http://c-work.co.jp/jcrt33/>



人材育成委員会 女性活躍推進班 近畿地域 関西★collection の活動報告

医療法人康仁会 西の京病院 診療支援部放射線科 待鳥尚子

日本診療放射線技師会で平成 23～25 年度の 3 回にわたり女性サミットが開催され、平成 26 年度より人材育成委員会 女性活躍推進班と名前が変わり、それと同時に各地域の女性技師による企画開催へと移行し、近畿地区として関西★collection（以下関★コレ）が発足された。当会での当面の事業展開としては年 1 回の近畿地域学術大会で研修会を開催する方針とし“ぜひこの機会にあなたの「働き方」について一緒に考えてみませんか？”をモットーとし活動していく予定とした。

この会は単なる女子会ではなく女性目線で企画し、女性技師がリーダーシップをとった“放射線技師が集うきっかけ”を作ることを目的として活動している。女性技師限定ではなく、男性技師も含めた多くの方々に参加してもらい、一緒に考えていただけるような今までの研修会とは違った“資質を高め合える場”を提供したいと考えている。

関★コレ発足後 2 回の研修会を開催してきたが、1 回目の研修会では働き盛り・子育て世代・次世代リーダーのパネリスト 4 名をお呼びし、病院による職場環境の違いについてパネルディスカッションを行った。

2 回目の研修会では、管理職の立場のお話も聞いてみたいというお声より『職場環境の違い』パート②とし、4 名の技師長から職場の様子、産休・育休時の対応、若手・女性技師に対する思いなどお聞かせいただくシンポジウムを開催した。

これらの開催により、アンケート結果からも他施設の状況や他人の立場に立って考えるきっかけになったなどの意見が多数あげられた。

アンケート結果を元に、女性技師の職場環境改善について考察し、次の研修会や今後の関★コレにできること、そして日本診療放射線技師会の在り方や方向性を少しでも良い方向に導いていけたらと思う。